

# 教育研究業績書

2017年05月29日

所属：情報メディア学科

資格：講師

氏名：和泉 志穂

研究分野	研究内容のキーワード
色彩学, 色彩情報	カラー・マーケティング, 色彩, 五感, 消費行動, 生活情報, 感性
学位	最終学歴
博士 (情報メディア学)	武庫川女子大学大学院 生活環境学専攻 生活環境学専攻 博士後期課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. アクティブ・ラーニング	2015年4月～現在	科目：色彩情報, 色のふしぎ 色彩の知識習得にあたり, 知識を受動的に学ぶのではなく, 実際に学んだものを生活の中から見つけ出し, 体験し, 他の学生とディスカッションやPBLを行うことで, 能動的に知識を身につけることができるよう授業展開や課題を設定している.
2. 復習テストの実施	2011年～2016年	科目：オフィスツールの基礎 授業の始めに, LMS(μ Cam)を利用した復習テストを実施した. 前週までの内容を範囲とし, 授業で修得する技術とは別に, 専門用語などの必要知識の定着を目的とした.
3. 課題による双方向授業の実施	2011年～2012年度	科目：色彩情報演習Ⅱ 講義内容の理解を深めるために, 前半は理論に関する講義を行い, その後は実際に配色カードなどを用いた演習を行っている. 毎週提出の課題は, できるだけ翌週には全て正誤チェックを行い, 何が間違っていたかなどをその都度コメントを記入し返却を行っている.
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. プリント教材	2011年～現在	科目：色彩情報 色彩の基礎を学ぶにあたり必要な知識の定着をはかるべく, 授業後に各自で実施する問題プリント教材を作成した. 90分の授業で学んだことから派生した内容も含めることで, 能動的に取り組む内容となるよう工夫している.
2. プリント教材	2010年～2011年度	科目：色彩情報演習Ⅱ 教科書の代わりとして, 要点の解説とワークシートを複合させたプリント教材を制作した. 教材は最新情報に改定しながら, 著作権の関係で配布できない資料はスライドを利用して見せるなどして, 学生により身近な事例を提示する工夫を施した.
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 色彩検定協会認定 色彩講師	2016年10月01日	文部科学省後援色彩検定協会が主催する認定講師養成講座を終了し, かつ色彩講師としての色彩の知識と講師として必要な幅広い知識と高い指導力を身につけた者に認定する資格.
2. Microsoft Office Specialist 2013 Master	2016年03月22日	Microsoftが複数のOfficeアプリケーションスキルを認定する国際資格.
3. 1級色彩コーディネーター	2013年01月	内閣府認定公益社団法人色彩検定協会が認定する色彩活用能力資格.
4. 高等学校一種 (情報) 教員免許	2004年03月31日	平15高1第1439号
5. 中学校一種 (家庭) 教員免許	2004年03月31日	平15中1第809号
6. 上級情報処理士	2004年03月31日	全国大学実務教育協会が認定する情報通信技術資格.
7. 高等学校一種 (家庭) 教員免許	2004年03月31日	平15高1第1257号
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		
1. 生涯学習講師「生活のなかにみる色彩」	2015年11月14日	猪名川町 (兵庫県) の生涯学習講座を履修している町民に対して開講されている市民講座にて講師を務めた.

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>4 その他</b>		
2. 日本繊維製品消費科学会 2015年度年次大会 若手優秀発表賞 受賞	2015年06月	日本繊維製品消費科学会の2015年次大会で発表した「自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究——複数の感覚項目の関係性および性差・世代差からの検討」が評価され、若手優秀発表賞を受賞した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要

<b>1 著書</b>				
-------------	--	--	--	--

<b>2 学位論文</b>				
---------------	--	--	--	--

1. ポストモダン・マーケティングの視点を取り入れたカラー・マーケティングの体系化に向けた研究	単	2016年03月	武庫川女子大学大学院生活環境学研究所博士学位論文	21世紀に入り、色鮮やかで彩り豊かな時代が再び到来している。市場転換期において色彩はその重要性が増しているが、これまでに、商業学を基礎とした色彩研究を体系化する研究はあまりみられない。そこで本研究では、色彩とマーケティングのこれまでの潮流を整理し、カラー・マーケティングの体系化を行うことを目的とした。体系化にあたり着目したのが、経験と感情、および感性に着目したポストモダン・マーケティングである。結果、色彩を用いた包括的な研究の必要性を示唆し、大きな枠組みとしての感性（五感）マーケティングにおける色彩の重要性を示した。
---	---	----------	--------------------------	---

<b>3 学術論文</b>				
---------------	--	--	--	--

1. 消費者行動における感性価値の研究	共	2015年07月	日本繊維製品消費科学会論文誌「繊維製品消費科学」Vol. 56(7), pp. 613-619	和泉志穂, 赤岡仁之 今日、注目されている感性価値と消費者行動研究に焦点を当てた。特に、消費者の商品購買時ではなく、商品使用時における感性価値の重要度の程度を、自動車(乗用車)をケースとして検討した(本研究では、車体色などの視覚、車内の臭いなどの嗅覚、エンジン音などの聴覚、シートの素材感などの触覚)。さらに、五感の感覚項目の重要性の程度をみるだけではなく、それらの感覚項目における精査や世代差の比較検討も行った。
2. 自動車をケースにした色彩とマーケティングに関する研究	単	2014年11月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要, 第23号, p. 115-125	近年、自動車(乗用車)や衣服などさまざまな商品において豊富なカラーバリエーションが商品の付加価値や企業の広告戦略として利用されている。そこで本研究では、色彩とマーケティング戦略との関連性を把握するための試みとして、日本の自動車市場をケースとした研究を行った。自動車の車体色の変遷を、企業のマーケティング戦略と消費者の選択の観点から整理することにより、色彩が果たしてきた役割を高度経済成長期, 安定成長期, バブル期, 成熟期の経済的時代区分により整理した。
3. PC画面上で見える三原色の季節感について	共	2009年11月	武庫川女子大学紀要(自然科学編), 第57号, pp. 17-23	伊佐治せつ子, 和泉志穂 近年、漫画やイラスト, 広告パンフレットなど視覚的表現の多くに画面上の色が用いられている。そこで本研究では、PC画面上における色の季節感を調べることを目的とし、色光の三原色である赤(R), 緑(G), 青(B)を用いて、それぞれに春, 夏, 秋, 冬の色の季節感を定量的に評価することを試みた。画面上でRGB値を各8段階に変化させ、サーストンの一対比較法を用いた尺度評価を行い、季節感を定量的に現し、L*a*b*表色系による彩度との関係を調べた。
4. リハビリテーションとしてのパチンコ・パチスロにおける福祉的側面の研究	単	2007年11月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要, 第17号, p. 72-82	大阪府下の高齢者関連施設858施設を対象に、パチンコ台設置に関する高齢者関連施設への実態調査(調査I)とパチンコ遊戯前後における高齢者の表情変化調査(調査II)、高齢者と施設関係者への遊戯に対する意識調査(調査III)を行った。そこから、遊びながらリハビリテーションを行う「遊びリハビリテーション」としてのパチンコ・パチスロ遊戯の可能性を提案し、日本の大衆文化(娯楽)の福祉的側面からのアプローチを試みた。
5. Javaアプレットによるプログラミング教育の取り組み	共	2004年12月	武庫川女子大学情報教育センター年報2003, 第12号, pp. 20-28	福井哲夫, 高松芽衣, 和泉志穂, 西田幸加 本論文では、武庫川女子大学生活環境学部情報メディア学科のJavaプログラミング教育について、指導の有効性と学生の興味やつまづきやすい点を、提出された半期にわたる課題のプログラミング文字数などを全てカウントすることから調査し、考察を与えた。

<b>その他</b>				
------------	--	--	--	--

<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
----------------------	--	--	--	--

<b>2. 学会発表</b>				
----------------	--	--	--	--

1. 自動車をケースとした消費者の感性価値に関する研究——複数の感覚項目の関係性および性差・世代	共	2015年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：信州大学	和泉志穂, 赤岡仁之 本研究では、今日注目されている感性価値と消費者行動研究に焦点を当てた。特に、消費者の商品購買
--	---	----------	------------------------------	--

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
差からの検討				
2. 若い女性にみる「やる気」を發揮させる配色についての一考察	共	2011年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：武庫川女子大学	時ではなく、その使用時における感性価値の重要度を、自動車（乗用車）をケースとして検討した（本研究では、車体色などの視覚、車内の臭いなどの嗅覚、エンジン音などの聴覚、シートの素材感などの触覚）。さらに、五感の感覚項目の重要性の程度をみるだけではなく、それらの感覚項目における性差や世代差の比較検討も行った結果を報告した。  和泉志穂、伊佐治せつ子 本研究では、単色ではなく「配色」における人のやる気を發揮させる効果について調査した。まず、単色でやる気を發揮させる色として調査を行った結果、赤、橙、黄、ピンク、の4色で全体の約88%を占める結果となった。そこで、この4色と無彩色の白、黒を合わせた合計6色を採用し、30通りの配色パターンを作成した。SD法でイメージ調査を行った結果、単色と配色では、やる気を感じさせる色が異なること、また、やる気を發揮させる配色にどのような法則があるかを報告した。
3. 高級感を感じる配色	共	2010年10月	日本家政学会関西支部第32回研究発表会 開催場所：兵庫県立大学	和泉志穂、伊佐治せつ子 本研究では、高級感をもたらす色について、単色と2色配色のそれぞれのケースにおいて、そのイメージの特徴を明らかにし、配色効果をもたらす高級感を検討することを目的とした。PCCS色票から23色（無彩色3色、有彩色20色）を抽出し、SD法で単色における高級感と2色配色における高級感のイメージ調査を行った。結果、単色と2色配色の場合で、それぞれ高級感をもたらす色相とトーンを明らかにし、さらにその要因として3つの因子を抽出し、単色と2色配色での高級感について報告した。
4. 女性ヤング誌にみる“かわいい”の表現	共	2010年06月	日本繊維製品消費科学会年次大会 開催場所：実践女子大学	和泉志穂、伊佐治せつ子 現在、諸外国でも注目されている“かわいい”という表現は、近年、若者（特に女性）の間では何に対しても、また、どのような場面でも使用されている。そこで本調査では、若い女性が“かわいい”という言葉をどのような対象物に対して使用しているのかを明らかにすべく、2007～2009年の女性ヤング誌に“かわいい”と表現されているファッションアイテムを抽出した。そして、種類、色、柄、素材、形、トーンについて、アイテム別“かわいい”表現の要素と経年変化を調査した結果を報告した。
5. PC画面上で見える色の季節感について	共	2009年10月	日本家政学会関西支部第31回研究発表会 開催場所：京都女子大学	和泉志穂、伊佐治せつ子 近年、漫画やイラスト、広告パンフレットなど視覚的表現の多くに画面上の色が用いられている。そこで本研究では、PC画面上における色の季節感を調べることを目的とし、色光の三原色である赤(R)、緑(G)、青(B)を用いて、それぞれに春、夏、秋、冬の色の季節感を定量的に評価することを試みた。画面上でRGB値を各8段階に変化させ、サーストンの一対比較法を用いた尺度評価を行い、季節感を定量的に現し、L*a*b*表色系による彩度との関係を調査した結果を報告した。
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 生活美学研究の今後(3)——生活美学基礎理論確立の試み	共	2016年12月	武庫川女子大学生活美学研究所紀要、第26号、p. 151-169	森田雅子、和泉志穂 生活美学研究の今後として、生活美学基礎理論を確立すべく、嗅覚の「美」と「醜」について、日誌形式の調査を基に、定量分析と質的分析で比較検討を行った結果を報告した。
2. 自動車のユニバーサルデザイン	単	2016年08月	A. F. T. 色彩講師養成講座 会場：色彩検定協会大阪本部	プロダクトデザインと色彩について、自動車のユニバーサルデザインにおける色彩を分析した。過去に行った調査研究のデータも用いながら、今後の自動車におけるユニバーサルデザインの方向性などについて示唆した。
3. “遊び”としてのパチンコ・パチスロについての研究	単	2006年05月	財団法人中山隼雄科学技術文化財団研究費報告会 会場：虎ノ門パストラル(東京)	研究費を助成していただいた財団法人中山隼雄科学技術文化財団にて、遊びとしての日本の大衆文化（パチンコ・パチスロ）の福祉学的側面からの研究報告を行った。
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. “遊び”としてのパチンコ・パチスロについての研究	単	2005年04月～2006年03月	財団法人中山隼雄科学技術文化財団	人間と遊びに関する研究一般を助成する助成研究B（遊びの研究等）で採択され、研究費を取得した。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2016年6月～現在	日本色彩学会 会員
2. 2016年4月～現在	日本家政学会 生活経営部会 会員
3. 2016年4月～現在	内閣府認定 色彩検定協会 (A. F. T.) 色彩講師会員
4. 2016年4月～現在	日本家政学会 会員
5. 2013年4月～現在	日本繊維製品消費科学会 会員
6. 2011年4月～2013年3月	日本家政学会 関西支部若手の会 幹事